

別府大学

国語国文学

第11号

鷗外「舞姫」の問題 ——その自伝性の限界をめぐる——	秦 行 正 1
『自然に、充分自然に』（伊東静雄）考 ——伊東静雄ノート（一）——	釘 宮 久 男 10
『鬼の児の唄』論 ——抵抗のアレゴリーを中心に——	首 藤 基 澄 17
「文学史を書くこと自体が、 芸術作品を書くことと同じこと」であってよいか ——三島由紀夫『日本文学小史』批判—— ——特に万葉集評価を中心に——（一）	古 庄 ゆき子 24
孟子字義疏証の立場 ——アンチ本来主義——	高 橋 正 和 35
源氏物語における栄華観	大 石 新 45
紫式部論 ——生活圏と精神構造について——	園 田 俣 子 51
「古今集」に見る大和	松 本 義 一 57
『太閤記』研究序説 ——甫庵『太閤記』の方法（中の三）——	嘉 部 嘉 隆 70

別府大学国語国文学会

